

令和元年度（2019年度）学校評価

1. 学校教育目標

人格の完成をめざし、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民の育成を期す。

◎校訓 自律 探求 友愛 協調 質実 剛健

②教育目標 ともに学び、夢をもって未来を切り拓く、たくましい生徒を育てる

《めざす生徒像》

- ・学ぶ意欲をもち、目標に向かってすすんで学び合う生徒
- ・自分を大切にし、互いの違いを認め合い高め合える生徒
- ・ルールを意識し、正しく判断して行動できる生徒
- ・心と体の健康を大切にし、自他の命を守る力のある生徒

《めざす学校像》 ～今日も来てよかったと思える学校、今日も受けたいと思える授業～

- ・学ぶ喜びにあふれ、自立の力を育む学校
- ・人権を大切にす、笑顔があふれる学校
- ・生徒、保護者、地域から信頼される学校

《めざす教職員像》

- ・全ての生徒に生きる力を育む授業力・指導力ある教職員
- ・確かな人権意識をもって、生徒の人権意識を育む教職員
- ・生徒の心と身体、命を守る危機管理対応力のある教職員
- ・チーム招提の一員として仲間とともに学び続ける教職員

2. 学校経営方針

1. 服務規律を確立し、学習指導要領に則った教育を推進して、適正な学校運営を確立します。
2. 一人ひとりを見つめ、個性を生かす教育を推進し、生命及び人権を大切にし、自ら考え、判断し、行動できる、心身共に健康な生徒を育成します。
3. 校内研修の充実及び各種研修講座への積極的な参加により、指導力を向上させます。
4. 研究授業（授業交流）の充実により、授業力を高め、生徒の学力を向上させます。

3. 本年度の取組内容及び自己評価

基本 方策	項目	・本年度の重点目標	○具体的な取組内容 (活動指標・成果指標を含める)	令和元年度（2019年度）学校自己診断 (数字%は自己診断アンケート結果肯定的回答割合)
自立の力を育む教育の充実	キャリア教育・学習指導	「招提中 目指せ！ 子どもが主役の授業」の授業づくりの実践研究と、9年間の学びを見通した招提中学校区一貫教育の推進により、全ての生徒の「学びへの意欲」と「確かな学力」を育みます。	○学力向上プランに則り、学力向上部を中心としたPDCAサイクルを活かした組織的な取組により、生徒の「確かな学力」を育みます。 ①「授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、考えをしっかりと伝えていたと思う。」という生徒85%以上(H30 84%) ②「家で、自分で計画を立てて勉強している。」という生徒50%以上(H30 35%) ③「家で、学校の授業の復習をしている。」という生徒40%以上(H30 37%) ④「家で、一日30分以上勉強する。」という生徒80%以上(H30 74%) ⑤「積極的に授業に参加している」という生徒85%以上(H30 80%) ○校区小中一貫教育を推進し、9年間の学びを見通した教育に取り組みます。 ①校区合同授業研究会と授業交流会を2回以上開催します。 ②学力や生活に関わる共通の課題について研修の場を設け、目指す子ども像を共有し、9年間を見通した取組をすすめます。 ○「生きる力」の育成を意図した教育、キャリア教育、進路学習の充実により、希望する進路実現に向けて主体的に考え、取り組む生徒を育てます。 ①1年生の職業講話、2年生の職業体験を通じて働く事の意義や将来の生き方を考えるなどキャリア教育に取り組みます。 ②「将来の夢や目標を持っている」という生徒75%以上(H30 67%)	○「招提中 目指せ 生徒中心の授業」を合言葉に、「コの字型の机配列」と4人班での学びあい学習に取り組んできました。学力向上部と教科部会による授業づくり研究を中心に、すべての生徒の学びを保障する授業を目指しています。授業に取り組む姿勢は、おおむね定着してきましたが、家庭学習の習慣に課題が見られ、学習内容が定着しないことが大きな課題になっています。 家庭での学習に自主的に取り組む習慣の土台になる学習意欲を高め魅力ある授業づくりや、やる気を育てる宿題の工夫、自主学習ノートの活用研究が、各教科だけでなく学校全体の課題です ①84% ②29% ③31% ④84% ⑤84% ○招提中学校区の2小学校と9年間で目指す子ども像「共に学び 夢と希望をもって未来を切りひらく たくましい子ども」実現に向け、合同研修や研究授業・授業参観、意見交流会に取り組まれました。系統立てた9年間の指導プラン作りが次の課題です。 ①研究授業4月授業参観11月②合同研修会 7月(生徒指導) ○成長に合わせた進路学習に取り組まれました。大きく変化していく社会で「生きる力」を育むために、中学校全体の教育を見直し、系統立てたキャリア教育が必要です。 カリキュラムマネジメントに取り組んでいます。 ①1年職業講話 2年職業体験3年進路選択に向けた進路学習 ②67%
豊かな心と健やかな体を育む教育の充実	支援教育・道徳教育・人権教育・生徒指導・生徒会活動	すべての生徒の自立に向け、きめ細やかな支援を充実させるとともに、教室環境と授業のユニバーサルデザイン化を進めるなど「ともに学び、ともに育つ」インクルーシブ教育を推進する。  いじめなどの人権侵害や差別・偏見を見抜き、許さない確かな人権意識と、自他の違いを認め互いを大切にする豊かな心を育むため、道徳教育と人権教育を充実させる。	○学級集団づくり、カウンセリング、生徒指導対応等の教職員研修を充実させ、教職員の生徒指導力を向上させます。 ①「担任の先生はより良い学級をめざして努力している」という生徒90%以上(H30 87%) ②「先生はいじめや校内暴力など困っていることに対処してくれる」という生徒90%以上(H30 86%) ③「先生は悩み事や困っていることに気軽に相談に乗ってくれる」という生徒85%以上(H30 83%) ○道徳の特別の教科化を見据えて、道徳教育推進教師を中心に、授業力の向上や評価について研修に取組みます。 ◆道徳校内研修、ローテーション道徳を実施し、9月と1月に一斉道徳の授業公開を行います。 ○人権問題について、正しく学ぶ学習と人権意識を育む取組を充実させます。そのために、教職員の人権教育研修を推進します。 ①生徒の人権意識を育むため、講演会や教材の企画を充実させ、学習を計画的に推進します。 ②教職員の人権教育研修を2回以上実施します。 ③「学校は人権や命を大切にしている」という生徒95%以上(H30 90%) ○生徒指導マニュアルやいじめ防止基本方針等生徒指導に関わる確認事項を共有し、組織的な生徒指導に取組みます。 ①登校指導や休み時間、昼休みの立ち番など生徒の生活の様子を、見守り、共有して、支援します。 ②生徒指導部を中心に、きめこまやかな情報共有、機を逃さない対応をすすめます。 ③スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校支援員はじめ関係諸機関との連携により、チーム招提としての確、迅速な対応、支援に取り組みます。 ○生徒会活動や学年、学級活動を充実させ、生徒自らが身の回りの問題に取り組み解決する経験を通じて、自尊感情や自己有用感を身につけることができるよう取組みます。 ①あいさつ運動や「スマホ5か条」など、生徒が自分たちで考え企画する取組をすすめます。 ②「自分には良いところがある」生徒80%以上(H30 78%) ③「学校の規則を守っている」生徒95%以上(H30 90%) ④「学校に行くのが楽しい」生徒85%以上(H30 81%) ⑤「生徒会活動に積極的に取組んでいる」生徒75%以上(H30 72%)	○職員会議等で、学校全体の状況を共有しタイミングを逃さない組織的な生徒指導対応を進めています。またスクールソーシャルワーカー、子ども総合相談センターによる虐待対応研修を行いました。日常的な報告、連絡、相談を徹底し、組織的な生徒指導、保護者対応を進めます。 ①86% ②83% ③80% ○道徳の授業力の向上のため、担任以外の教員も道徳の授業をするローテーション道徳に取り組む授業参観に取り組まれました。評価と指導のさらなる充実が課題です。 ◆ローテーション道徳2学期 1月13日(土)一斉道徳参観 ○1学期 人権・平和講演会・2学期 特活人権学習(1年 共生教育(LGBTQ) 2年 在日朝鮮人教育 3年 部落問題学習)に取り組まれました。今後、日常的な取組を通じて生徒の人権意識を高めることを意識し、学級づくりや生徒指導に取り組むことが課題です。 ①人権学習の教材づくりを進め、生徒が参加する形で意識を高める教材を作って、学級担任が生徒の実態に合った形で人権学習に取り組んでいます。 ②守口市立さつき中学校夜間中部の教育と人権課題について1学期は参観交流 夏休みに研修会に取り組む、学びました。また府や北河内地区、枚方市の人権研修に教員が積極的に参加し、その内容を全体で共有しています。 ③91% ○生徒指導マニュアル等の確認や不登校・虐待に関わるケース会議、生徒指導部会、職員研修で、特に支援が必要な生徒の状況を共有して組織力を高め、全体として落ち着いた学校環境は実現できています。 ①登校指導、立ち番を継続 ②毎週生徒指導部会を開催 ③SC、SSW、不登校支援協力員3名が連携して生徒を支援 ○生徒会が専門委員会のキャンペーンに取り組んだり、毎月の生徒集会を司会進行し、学校の問題について全校生徒に呼び掛けるなど招提中を自分たちが作るという意識が定着してきています。しかし、スマホのルールについては、使用の実態に問題が多く、どうしたら家庭の協力を得ることができるかなどPTAや生徒指導部などとの連携した取り組みが必要です。 ①新しい取り組みとして生徒会本部が学校生活に対する意見、要望のアンケートを実施し、先生と話し合って集会で結果を発表しました。 ②67% ③88% ④81% ⑤73%

教職員の資質と指導力の向上	指導力向上研修・組織運営	<p>研究授業（授業交流）の充実により、授業力を高め、生徒の学力を向上させます。</p> <p>校内研修の充実及び各種研修講座への積極的な参加により、指導力を向上させます。</p>	<p>○学力向上部を中心に、教科部会を核とした授業研究、学年授業交流、研究授業など、授業力向上に組織的に取り組んで、授業力を向上させます。</p> <p>①「普段の授業では自分の考えを発表する機会が与えられている。」という生徒90%以上(H30 89%)</p> <p>②「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。」という生徒90%以上(H30 89%)</p> <p>③「授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されている。」という生徒95%以上(H30 92%)</p> <p>④「授業中、私語が少なく落ち着いて授業を行っている。」という生徒75%以上(H30 45%)</p> <p>○生徒指導や人権教育など課題に正対した校内研修を企画し実施するとともに、各種研修講座への参加を奨励し、教職員の指導力を向上させます。</p> <p>①校内研修を充実させます。</p> <p>②研修参加を奨励します。</p> <p>③「先生は生徒の個性を大切にし、生徒のがんばりを認めてくれる」という生徒90%以上（H30 86%）</p>	<p>○学力向上部、学力向上委員会そして教科部会の連携により、授業力を高めるために取り組みを進めています。授業をビデオ撮影して教材化したり、学年での授業参観をしたあと学年の先生たちが生徒の様子からすべての生徒が学びに参加する授業にするためには、どんな工夫をしたらいいかについてを話し合っています。学習習慣や基礎学力を身に付けさせることも大きな課題です。</p> <p>①87% ②95% ③95% ④52%</p> <p>○年間計画で設定した研修以外にも虐待やICT導入、教職員の服務研修、そしてキャリア教育に関するカリキュラムマネジメント研修など課題に対応して教職員の意識や指導力を向上させるための研修を随時設定しています。特に不登校・虐待対応力向上が喫緊の課題です。</p> <p>①2月25日キャリア教育研修等</p> <p>②人権教育、学習障害理解、生徒指導、がん教育、先進校公開研究会（授業づくり、学校づくり）などに参加しています。</p> <p>③84%</p>
学びのセーフティネット	保護者地域との連携	<p>地域の子どもを育てる「地域の学校」として、地域への積極的な情報発信と、連携充実に取り組みます。</p>	<p>○自尊心の向上や基本的な生活習慣獲得の意義について、学校便りや保護者会、懇談等により共通理解をはかり、家庭との連携を推進します。</p> <p>①「学校は子どもに社会のルールを守る態度を育てようとしている」という保護者90%以上（H30 88%）</p> <p>②「学校は子どもに火災・台風・地震など非常事態が起こった時の行動について指導している」という保護者95%以上（H30 95%）</p> <p>○保護者、地域と「めざす子ども像」の共有を図り、地域行事やあいさつ運動など保護者、地域とともに生徒を育む取組みを充実させます。</p> <p>①「よくあいさつをしている」生徒85%以上（H30 82%）</p> <p>②「学校は他人の立場を理解し、思いやりのある子どもを育てようとしている」という保護者90%以上（H30 85%）</p> <p>③「学校は子どもに豊かな心を育てるとりくみを行っている」という保護者が85%以上（H30 77%）</p> <p>④スマートフォン・SNSの使用に関わる啓発活動を地域・保護者と連携して推進し、校区・地域ぐるみの取組みを進めます。</p> <p>○保護者、地域への情報発信や学校公開の機会の充実により地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>①「学校の様子、取組みが学校ホームページや保護者会、通信、たよりなどでよく知ることができる」という保護者が85%以上（H30 80%）</p> <p>②「学校は保護者や地域に開かれている」という保護者が95%以上（H30 92%）</p>	<p>○生活アンケート、教育相談や家庭訪問、個人懇談など個別に生徒や保護者と話し合い、学校生活上の悩み事や困りごとを把握して一人一人の生徒の状況に応じた支援の充実を図っています。今後も、全体に共通する課題は学年通信や学校だよりで生徒だけでなく、保護者にも取組を要請するなど家庭との連携充実を図っていきます。</p> <p>①79% ②81%</p> <p>「ともに学び 夢をもって未来を切りひらくたくましい生徒」を教育目標に掲げ地域、保護者との連携に取り組みました。オープンスクールや学校行事ではPTAが受付担当して下さり、地域教育協議会はスマホ講演会や子どもたちが楽しみにしているすこやか祭りに取り組んでくださいました。教育環境整備は11月に時期を変更し、子どもたちも一緒に校内の草刈り・清掃作業をしました。あいさつ運動や校区パトロールなども保護者・地域・教員と一緒に取り組んでいます。地域の子どもを、地域と育てる意識を共有して地域の学校づくりを進めることが目標です。</p> <p>①84% ②74% ③84%</p> <p>④10月30日スマホ講演会 生徒対象と保護者対象の研修 8月18日3者交流会 保護者のためのスマホ勉強会</p> <p>○年間3回の土曜授業・オープンスクールを実施し生徒たちの生活ぶりを参観していただきました。学校だよりに加え、各学年が学年だよりを、すべての学級担任が通信を発行して、生徒たちの様子をお伝えしています。</p> <p>①85%</p> <p>②学校は授業参観や懇談会をよく設けている。92%</p>

上記の学校自己評価をもとに、学校評議員やPTA代表からのご意見を踏まえて、次年度（令和2年度）には、下記の項目について、本校の重要な課題とし、取組を進めていきます。なお、今年度の学校協議会については、新型コロナウイルス感染症対応のために、個別にご意見をいただきました。

項目	内容	改善方策
キャリア教育	<p>・大きく変化していく社会を見据えて、「20歳になった時に身につけさせておきたい力」を子どもたちに育むことが求められています。</p>	<p>○『『考える』生徒』を育てることを中心として、年間の学校の取組（教育課程）を見直し、各学年の中心の取組を明確にします。生徒が、1年語のゴール、卒業時の自分を意識して意欲をもって生活できるようにします。</p> <p>○先を見通して自分の学習などの生活を計画的に考え、実行できる「自律する力」を育むために、各学年の生徒の状況にあった取組をすすめます。</p>
学習指導	<p>・学びに向かう意欲に課題がある生徒が少なくありません。特に「学ぶ力」に課題がある生徒たちにも「学びを保障する授業」を行い、授業と家庭学習に意欲をもって取り組む生徒を育てることが大きな課題です。</p>	<p>○すべての生徒の学びを保障するために、「招提中 学びの作法」の意義を生徒たちが理解し、大切にできるように、教師と生徒が一体となって授業を作る取組をすすめます。</p> <p>また、自主学習ノートに、意欲的に取り組める工夫を考え、取組みます。</p>
生徒指導	<p>・睡眠時間や食事などの生活習慣、スマホやネットの使用に対する意識が育っていないことが、様々な問題に結びついています。ネットトラブルも後を絶たない状況です。</p>	<p>○睡眠や食事などの生活習慣や心身の健康の大切さ、スマホやネットとの付き合い方を学ぶ機会を設けます。また、保護者と教職員と一緒に学び、連携する取組をすすめます。</p>
教育課程など	<p>・招提中学校区の子どもたちに「20歳になった時に身につけさせておきたい力」を育むためには、小学校段階から子どもの発達段階を踏まえた指導が欠かせません。そのために、招提中学校区の子どもを共に育てる小中一貫教育に取り組む必要があります。</p>	<p>○今後も小中合同の指導力向上研修、授業交流を行い、意見交流など顔の見える校区連携を進めます。</p> <p>○家庭学習の手引きや、発達段階を踏まえた「学年の学びのめあて」について小中で話し合っ、わかりやすく、実行しやすいものを作成して児童生徒、保護者に発信し、校区の小中学校と家庭が連携して取り組めるようにします。</p>

以上報告し、令和2年度の取組みに反映させてまいります。

令和2年3月18日

枚方市立招提中学校 校長 町田 弘明